

科目名: 社労士の基本を学ぶ		科目コード	HH34	
科目主査: 北川 和善		担当講師: 北川 和善、若林 芳勝	単位	2
			配当年次	1
授業の目的と概要	グループワーク: <input type="checkbox"/> あり <input checked="" type="checkbox"/> なし	個人ワーク: <input type="checkbox"/> あり <input checked="" type="checkbox"/> なし	カマ・マイクの必要性: <input type="checkbox"/> 必須 <input checked="" type="checkbox"/> 望ましい <input type="checkbox"/> 不要	
<p>社会保険労務士コースの学習を始めるに際し、最初に取り組むべき科目です。本科目では国家試験の内容、学習の方法、法律の基礎知識を学習したうえで、各試験科目についてその概要を学習します。さらに国家試験科目間の相互関係とその基礎部分の確かな理解を深めます。</p>				
履修の前提となる科目	<input type="checkbox"/> あり <input checked="" type="checkbox"/> なし	科目名:		
履修の前提となる知識 その他特記事項	<p>初学者向けのスクーリングです。特に前提となる科目はありません。事前にテキストを熟読し、わからない点や自信のない点があったらマーキングしておきましょう。</p>			
テキスト	『社労士はじめの一歩』TAC社会保険労務士講座(編),TAC出版			
この科目の到達目標	<p>①社労士試験の内容と法律の基礎について理解し、横断的に整理・考察できる。 ②社労士試験科目(労働関係諸法、労働保険関係諸法、社会保険関係諸法、一般常識)の概要を理解して、社労士試験科目の重要箇所について説明できる。</p>			
成績評価の方法	<p>授業時間のすべての時間にアクセスしていることを条件に、最終試験の得点で評価します。</p>			
事後学習	<p>①基本テキストを決め、それを通読する。②社会保険労務士試験の「過去問題集」の解説をよく読みながら解き、不明点を基本テキストに戻り理解を確立する。③上記②を繰り返す。</p>			
事後学習の参考文献	<p>『ごうかく社労士基本テキスト』秋保 雅男, 中央経済社, 最新版 『社労士受験六法』社労士六法編集委員会, 東京法令出版, 2016年</p>			
<p>スクーリング受講時に用意するもの <input checked="" type="checkbox"/>テキスト <input checked="" type="checkbox"/>筆記用具</p>				